

北海道における環境・エネルギー分野の 産学官金連携セミナー

～オール北海道体制による本道の環境・エネルギービジネスの活性化に向けて～

今、地域が持つ優位性や積雪寒冷などの特性を活かした、地域活性化・雇用創出を図る新たな産業振興が求められています。また、低炭素社会の実現に向けて、北海道は恵まれた自然と広大な土地を有し「再生可能エネルギー」の宝庫と言われており、環境・エネルギー産業への期待が高まっています。

このような中、北海道の特色を活かした環境・エネルギービジネスの活性化を図るためには、本道の持つ技術や製品を組み合わせたブラッシュアップなど、市場ニーズにマッチする製品の開発を進めるとともに、国内外に向けた環境・エネルギー関連製品の市場開拓・販路拡大を積極的に推進していく必要があります。

本セミナーでは、環境・エネルギービジネスの拡大に向けて、こうした取り組みを実践している先進事例をご紹介しますとともに、オール北海道体制での今後の取り組みの方向についてご説明申し上げます。

日時 平成25年3月14日(木)13:30～15:30
場所 ホテル札幌ガーデンパレス2階丹頂
(札幌市中央区北1条西6丁目 TEL 011-261-5311)



プログラム

1. 企業間連携による環境・エネルギービジネスの重要性

～仙台発！ハイブリッド型(太陽光+風力)発電機器による街路灯の開発～

株式会社 馬淵工業所 代表取締役 小野 寿光 氏

建築設備工事を手がける馬淵工業所(仙台市)では、独立電源の太陽光パネルと風力発電、LEDなどを組み合わせた通信・保安灯(マブチハイブリッドポール)を開発。韓国企業2社との連携によりコストの課題を乗り越え実用化にこぎつける。韓国では既に200基以上設置されているほか、国内でも名取市での導入を始め、組み合わせによる用途の拡がりの可能性が注目を集めている。新エネルギーの地域導入などを旨とする産学官連携組織である「一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会(JASFA)」の代表理事総務局長も務め、連携と協業をキーワードに多方面で活躍。

2. 動く蓄電池としてのEVの可能性

～電気自動車の動力源以外の用途で活用～

三菱自動車工業 株式会社 EVビジネス本部長補佐 松林 正明 氏

3. 環境・エネルギー分野におけるNTTグループの取り組みについて

～道内市町村との地域節電プロジェクト～

東日本電信電話 株式会社 北海道支店 法人営業部長 濱 孝之 氏

4. オール北海道体制による本道の環境・エネルギービジネス活性化に向けて

～北海道グリーンコミュニティ推進ネットワークの設立～

社団法人 北海道商工会議所連合会 政策企画部長 長野 州一

参加者：道内の環境・エネルギー関連企業、産学官金関係機関・団体 等

参加申込(入場無料) うら面の記載方法にて申し込みをお願いします。

主催：社団法人 北海道商工会議所連合会
共催：北海道、札幌市、札幌商工会議所 後援：環境省北海道地方環境事務所

会場案内図

ホテル札幌ガーデンパレス

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西6丁目
(道庁南側)
TEL 011-261-5311 FAX 011-251-2938

■JR札幌駅南口から徒歩7分

■地下鉄

- 1) さっぽろ駅南北線10番出口
- 2) 大通駅東西線1番出口 から徒歩5分

■札幌駅前通地下歩行空間

- 1) 6番出口 又は 8番出口より徒歩3分
- 2) **おすすめ** 北一条地下駐車場連絡通路1番出口徒歩2分



参加申込

申込締切 3月8日(金)

○メールでお申し込みの方

件名に「参加申込み」とご記入いただき、本文に所属(会社・団体名)、部署、役職、氏名、連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、下記のアドレスへ送信願います。

《メールアドレス》 **green-net@hokkaido.cci.or.jp**

○FAXでお申し込みの方

下記の表に必要な事項を記入の上、下記FAX番号に送信願います。

《FAX番号》 **011-231-0726**

| | | | |
|----|--|---------|--|
| 所属 | | 部署 | |
| 役職 | | 氏名 | |
| 電話 | | メールアドレス | |
| 所属 | | 部署 | |
| 役職 | | 氏名 | |
| 電話 | | メールアドレス | |

お問い合わせ

(社)北海道商工会議所連合会 政策企画部 長野・竹中
札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター2階 電話 011-241-6309